

● 歴代所長・理事長 ● 研究テーマ ● 事業履歴

1984

■ 財団法人国際高等研究所設立許可（文部省）

1984

■ 奥田 東 初代理事長就任

1994

■ 岡本 道雄 第2代理事長就任

1995～

■ 社会情報学（吉田民人）

■ 情報論的転回（吉田民人）

■ わざ学（山口 修）

1996～

■ 人類の自己家畜化現象と現代文明（尾本恵市）

■ 生命体の多様性（岩槻邦男）

1998

■ 新宮 康男 第3代理事長就任

1998～

■ 政府統治（government governance）の研究（本間正明）

■ 環境と食料生産の調和に関する研究（渡部忠世）

■ 生物研究と生命（中村桂子）

■ ヒト遺伝子解析及び遺伝子医療に伴う倫理問題とそれへの対応（武部 啓）

■ 情報市場における近未来の法モデル（北川善太郎）

2000～

■ 高度情報化社会の未来学（坂井利之）

■ 種族維持と個体維持のあつれきと提携（岡田益吉）

■ 多様性の起源と維持のメカニズム（吉田善章）

2001～

■ 公共部門における人材の配分と育成（猪木武徳）

■ 東西の恋愛文化（青木生子）

■ 災害観の文明論的考察（小堀鐸二）

■ 思考の脳内メカニズムに関する総合的検討（波多野誼余夫）

■ 物質科学とシステムデザイン（金森順次郎）

2003～

■ 開発途上国と日本人長期政策アドバイザー（橋本日出男）

■ 分化全能性（原田 宏）

■ 共同研究の法モデル（北川善太郎）

2004

■ 立石 義雄 第4代理事長就任

2005～

■ 進歩主義の後継ぎはなにか（廣田榮治）

■ 産学連携の知的財産法モデル（北川善太郎）

■ コア・エグゼキュティブと幹部公務員制度の研究（村松岐夫）

■ 多元的世界観の共存とその条件（石川文康）

■ 電子系の新しい機能（新庄輝也）

■ 学術研究機関における学術情報システムのモデル構築（北川善太郎）

1978

■ 関西学術研究都市調査懇談会（奥田懇）発足

1989

■ 世界の高等研究所交流会議

■ 国際公開フォーラム

「人類の未来に関する創造的研究をめざして」（東京・大阪）

1990

■ 岡本 道雄 初代所長就任

1991～

■ 理論生命科学（岡田節人）

1993～

■ 安全科学（村上陽一郎）

1994

■ 小田 稔 第2代所長就任

1994～

■ 比較幸福学（中川久定）

■ 複雑系の秩序と構造（長谷川晃）

1996

■ 沢田 敏男 第3代所長就任

1997～

■ 科学の文化的基底（伊東俊太郎）

■ 言語の脳科学（乾 敏郎）

1999～

■ 器官形成に関わるゲノム情報の解読（松原謙一）

■ 物質研究における多角的協力の構築（金森順次郎）

■ 臨床哲学の可能性（野家啓一）

■ 「一つの世界」の成立とその条件（中川久定）

2001

■ 金森 順次郎 第4代所長就任

2002～

■ 国際比較からみた日本社会の自己決定と合意形成（田中成明）

■ スキルの科学（岩田一明）

■ センサー論（鷲田清一）

■ 量子情報の数理（大矢雅則）

■ 21世紀の宇宙開発・宇宙環境利用の問題（木下富雄）

2004～

■ 学習の生物学（星元 紀）

■ 芸術と社会（佐々木正子）

■ 隙間－自然・人間・社会の現象学－（鳥海光弘）

■ ダイナミックスからみた生命的システムの進化と意義（津田一郎）

2006～

■ 計算機マテリアルデザインコピーマートの構築（中西 寛）

■ 19世紀東アジアにおける国際秩序観の比較研究（吉田 忠）

■ スキルと組織（榎木哲夫）

■ 認識と運動における主体性の数理脳科学（沢田康次）

■ グローバリゼーションと市民社会（仁科和彦）

■ 生命科学の発展に対応した新しい社会規範の模索（位田隆一）

■ 文化財保全技術（志水隆一）

2008～

■ 絵画と文学に表象される、時間と空間の脳による認識（近藤寿人）

■ 近代精神と古典解釈：伝統の崩壊と再創造（手島勲矢）

■ 数量的アプローチによる日本経済の比較史的研究（宮本又郎）

■ ナノ物質量子相の科学（金森順次郎）

2009～

■ 宇宙における生命の総合的考察とその研究戦略（海部宣男）

■ 受容から創造性へ

－近代日本文学におけるスタンダードの場合－（ジュリー ブロック）

■ 諸科学の共通言語としての数学の発掘と数理科学への展開（高橋陽一郎）

■ 天地人（尾池和夫）

■ 21世紀における文化としての設計科学と生産科学（岩田一明）

■ 法と倫理のコラボレーション－活気ある社会の規範形成－（服部高宏）

■ メタマテリアルの開発と応用（石原照也）

2011～

■ 『ケア』から見た社会保障の新たな展望（西村健一郎）

■ 心の起源（松沢哲郎）

2013～

■ クロマチン・デコーディング（石川冬木）

■ 分子基盤に基づく生体機能への揺らぎと

ダイナミックネットワークの解明（寺嶋正秀）

2014～

■ ネットワークの科学（郡宏・増田直紀）

■ 精神発達障害から考察するdecisionmakingの分子的基盤（辻 省次）

■ 生命活動を生体高分子への修飾から俯瞰する（岩井一宏）

■ 設計哲学－俯瞰的価値理解に基づく、

人工財の創出と活用による持続可能社会を目指して－（梅田 靖）

■ 総合コミュニケーション学（時田恵一郎）

2016

■ けいはんな“エジソンの会”発足

■ 理化学研究所及び京都府と基本協定を締結

■ 奈良先端科学技術大学院大学及び理化学研究所との

相互強力に関する包括協定を締結

2018

■ 森 詳介 第5代理事長就任

■ 経営基盤委員会の設置と答申

2019

■ 高等研将来構想検討会設置

■ IIAS「哲学と先端科学」の対話シリーズ開始

■ 2019年度に実施の研究活動

■ 終了した研究テーマ

2007～

■ 高度計測技術の発展と埋没（本河光博）

■ 細胞履歴に基づく植物の形態形成（鎌田 博）

■ 次世代情報サーチに関する総合的研究（田中克己）

■ 女性研究者と科学技術の未来（伊藤厚子）

■ すきまの組織化（鳥海光弘）

■ スンマとシステム－知のあり方－（亀本 洋）

■ 生物進化の持続性と転移（津田一郎）

2009

■ 尾池 和夫 第5代所長就任

2010～

■ アジア・デザイン・エンサイクロペディアの構築（藤田治彦）

■ 意識は分子生物学でどこまで解明できるか？（坂野 仁）

■ 交渉学の可能性

－新しい世界の関係構築と紛争の予防のために－（松岡 博）

■ ジェンダーからみた家族の将来（姫岡とし子）

■ 宗教が文化と社会に及ぼす生命力についての研究

－禅をケーススタディとして－（天野文雄）

■ 単分子エレクトロニクスの現状認識と

近未来実現へ向けての中核体制構築（夢田博一）

2012～

■ 老いを考える（松林公蔵）

■ ゲノム工学とイメージングサイエンスに基づく

生命システム研究の新展開（川上浩一）

■ 東アジア古典演劇の「伝統」と「近代」（天野文雄）

2013

■ 志村 令郎 第6代所長就任

2013

■ 国際高等研究所戦略会議（ISC）発足

■ けいはんな哲学カフェ“ゲーテの会”発足

2014

■ 創設30周年記念フォーラム開催

2015

■ 長尾 真 第7代所長就任

2015

■ IIAS塾ジュニアセミナー開始

2015～

■ 人工知能に関する問題発掘型対話基盤と新たな価値観の創出（江間有沙）

■ 領域横断型の生命倫理プラットフォームの形成に向けて（児玉 聡）

■ 21世紀地球社会における科学技術のあり方（有本建男）

■ 人類生存の持続可能性－2100年価値軸の創造－（佐和隆光）

■ 多様性世界の平和的共生の方策（位田隆一）

■ 「けいはんな未来」懇談会（松本 紘）

2017

■ 国際高等研究所シンポジウム開催（大阪・東京）

■ 基幹プログラム（2015-2017）報告書を発刊

2017

■ 「日本文化創出を考える」研究会（西本清一）

2018

■ 松本 紘 第8代所長就任

2018～

■ SDGs時代における科学技術のあり方

－ブダペスト宣言から20年－（有本建男）

■ 第4次産業革命への適応

－社会経済システムの再編成－（佐和隆光）

■ 教育を基軸とした住民参加型地域振興（高見 茂）

－けいはんな学研都市地域を軸とした教育システム輸出拠点の形成

－けいはんな学研都市地域の振興に向けた具体的試み

－ヘルスリテラシー向上を通して－

2019～

■ きづミーティング（集合知ネットワーク構築プロジェクト）（駒井章治）